

大阪医療センターにおける診療看護師 (JNP) の活動実績

森 寛泰[†] 中 島 伸^{*}

第74回国立病院総合医学会
(2020年10月17日～11月14日
WEB開催)

IRYO Vol. 76 No. 3 (205-209) 2022

要 旨

国立病院機構大阪医療センター（当センター）では2012年からJNP（Japanese Nurse Practitioner）を導入し、現在7名が総合診療科、循環器内科、外科、重症集中管理部門に所属し、医師と連携し実践活動を行っている。

本稿では当センターの総合診療科でのJNPの活動実績を①救急診療 ②入院診療 ③新型コロナウイルス診療の3つの視点から報告する。

JNPは多岐にわたる病態・疾患に対する的確な患者アセスメントに基づき、医師と連携して診療業務を安全に担える存在であり、医師の診療業務の一部をシェアすることにより医師の業務負担の軽減および診療生産性の向上にも貢献できている。COVID-19のような災害発生時にも施設の平常時の医療システムの維持に貢献できた。

2024年4月から勤務医の時間外労働時間は年間960時間に制限することが求められている。国立病院機構（NHO）でも医師不足、医師の診療科の偏在に加え、COVID-19の長期化にともなう医師の業務負担などが問題となっているが、JNPの導入により効果的・効率的なチーム医療、タスクシフトを進め、時代や社会のニーズに対応した医療体制を維持していくことが期待される。今回報告したJNPの取り組みをNHO内の病院や全国の医療機関に拡げることにより、現在の医療水準を落とすことなく日本の医療をさらに発展させ、持続させることが可能であると考え。

キーワード 診療看護師, JNP

診療看護師 (NP), JNPとは

日本における診療看護師（Nurse Practitioner：NP）の養成教育は、2008年から大学院修士課程において始まり、2021年3月現在、すでに600人近いNPが日本NP教育大学院協議会（以下、NP協議会）の資格認定を受けている。NP協議会では、NPを「患

者のQOL向上のために医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師」と定義しており、NPが実際に行っている診療業務は所属する病院等で若干異なるが、その活動は医療スタッフ、患者からも高い評価を得ている^{1) 2)}。

国立病院機構（NHO）では、NP協議会の資格認

国立病院機構大阪医療センター 総合診療科、*総合診療科、脳神経外科 †診療看護師

著者連絡先：森 寛泰 国立病院機構大阪医療センター 診療部 チーム医療推進室

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14

e-mail：mori.hiroyasu.bj@mail.hosp.go.jp

(2021年3月29日受付、2022年6月3日受理)

Clinical Activities of Japanese Nurse Practitioners at Osaka National Hospital

Hiroyasu Mori and Shin Nakajima*, Department of General Medicine and *Departments of General Medicine and Neurosurgery, NHO Osaka National Hospital

(Received Mar. 29, 2021, Accepted Jun. 3, 2022)

Key Words：Nurse Practitioner：NP, Japanese nurse practitioner：JNP